

# ラコリス株式会社



- 本社所在地 宮城県仙台市宮城野区  
鶴ヶ谷2丁目8-1
- 主な事業内容 土木工事、運輸事業
- 従業員数 25人



健康経営優良法人認定

2020～2022 認定（2022はブライツ500）

## 健康経営に取り組むきっかけ

社員の平均年齢が高いことに加え、毎年の定期健診で有所見率が高い社員が多いと感じたことです。病気により人材の失うのは悲しいことなので、環境整備から始めました。

健康経営優良法人の申請については、当初は認定制度を意識していた程度ですが、これからの課題が見えると感じたので取り組むことにしました。課題はさほど大きなものではなかったのですが、ひとつひとつクリアし結果につながりました。現在は計画書を作成し、課題を毎月確認しています。



各種認定証

## 注力している取り組み

定期健診の所見で多く見られる高血圧やBMI数値をどうやって下げるか思案し、まずは喫煙率を下げることにしました。5年前に禁煙手当を毎月5千円でスタートし、急な禁煙よりも無理の少ない加熱式タバコへの移行を勧め、宣言した社員には器具代も支給しました。会社として健康増進の活動に取り組んでいることを社員に認知してもらうことが大切で、喫煙が様々な疾病の原因になっていることを理解してもらうよう働きかけています。



「ラコJO通信」

また、毎月発行している社内報「ラコJO通信」で主に健康情報を伝えています。以前に健康アンケートをとったことがあり、社員の関心の高いものからセミナーを開催して周知しています。

## 取り組みの課題

工事現場への直行直帰が多いので、時間的、距離的に社員と接することが難しく、どうしたら会社の考えを伝えるかが問題になりました。そこで社員の全体集合日の安全会議にて、衛生と健康の時間を割いて、啓蒙活動をしてきました。喫煙対策については、コロナ禍なので産

業保健センターの保健師と、オンラインで繋ぎ「タバコについて」のセミナーを開催し勉強してもらいました。

現在の課題は運動です。協会けんぽからの提供データではメタボの社員が多く、食事改善よりも運動の必要性に着目し、出前講座を開催して運動に興味を持ってもらえるようにします。また、コミュニケーションを図る意図もあり、社内ボウリング大会を企画しました。

コロナ禍で人と人が交わる機会が少ないので、こういった行事は大切だと考えています。社員のメンタルも意識しています。ストレスチェックなど専門家の意見をすり合わせし、見えない健康管理にも取り組みます。



健康セミナー風景

## 取り組みの効果

喫煙者数は、退職者や途中入社社員もいるので、現在の在籍者の数値では微減かなと思いますが、少しずつ禁煙成功者が増えていきます。社内では敷地内禁煙にしたり、身近な機会を排除しながら喫煙を減らしています。

健診で「所見あり」の社員には再検査を促しましたが、当人意識が薄かったこともあり、時間がかかりました。しかし、根気強く取り組んだ結果、令和4年の実施率は、ほぼ100%になっています（実績75%/再検査予約も含めて100%）。

## 今後の展望をお聞きしました！

健康で継続的に働いてもらえることが望みです。病気を理由で離職するようなことは無くしたい。健全なメンタルと健全な体づくりに、協力していきたいと考えています。

建設業界は労働環境が良くないイメージがあり、若者の採用が難しくなっていますが、業界の存続のためにも率先して働き方改革に取り組み、イメージUPに貢献していきたいと思えます。



代表取締役  
遠藤己夫 氏